



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月6日

上場会社名 株式会社アオキスーパー 上場取引所 東
 コード番号 9977 URL <http://www.aokisuper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 俊道
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼開発部長 (氏名) 黒澤 淳史 (TEL) 052(414)3600
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の業績 (2019年3月1日~2019年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	76,833	△2.8	806	△28.6	877	△26.1	508	△28.2
2019年2月期第3四半期	79,049	0.5	1,129	△12.2	1,187	△11.7	707	△11.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年2月期第3四半期	88.59		88.13					
2019年2月期第3四半期	123.73		122.94					

(注) 当社は2018年9月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株に併合しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	29,909	19,674	65.6
2019年2月期	28,867	19,486	67.3

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 19,626百万円 2019年2月期 19,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	15.00	—	30.00	—
2020年2月期	—	30.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2018年9月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株に併合しております。2019年2月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年2月期の1株当たり年間配当金は60円となります。

3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	△2.1	1,040	△37.4	1,115	△35.9	650	△34.1	113.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	6,250,000株	2019年2月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	505,424株	2019年2月期	516,240株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	5,738,510株	2019年2月期3Q	5,719,305株

(注) 当社は2018年9月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株に併合しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加により景気は緩やかな回復が続きました。一方で、個人消費は、低価格志向などの生活防衛意識が依然として根強く、消費者マインドは弱含みの状況が続きました。先行きにつきましては、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善等により、引き続き緩やかな景気の回復が続くことが期待されております。しかしながら、通商問題の動向、海外経済の動向や金融資本市場の変動に留意が必要であり、国内の消費についても消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある状況となっております。

このような状況におきまして当社は、従業員の働く環境を改善するために、前事業年度より夜間営業店舗の営業時間を短縮したことに加え、第1四半期より複合商業施設等の一部を除く全店舗に臨時の休業日を4日設定すると同時に、お会計セルフレジをはじめとする省人化・生産性向上のための設備を継続して積極的に導入いたしました。店舗政策としては、10月に一色新町店・11月に三条店・西枇杷島店をリニューアルオープンいたしました。販売促進政策では、ポイントカードの新規会員募集やお買物券プレゼント、お客様を対象とした食品メーカーとの共同企画によるIHクッキング教室(本社ビル3F)の開催を引き続き実施いたしました。また、競合店対策のため、恒例となりました四半期に一度の大感謝祭・週に一度の日曜朝市及び95円(本体価格)均一等の企画を継続実施したことに加え、新元号改元のお祝いセール、ポイントカード会員様を対象としたポイントプレゼント及び家計応援スクラッチお買い物券プレゼント企画も実施いたしました。

しかしながら、当社を取り巻く経営環境は、食品の取扱比率を高めているドラッグストアや同業店舗間の競争の激化に加え、労働需給も依然として逼迫していることなど、厳しい状況が続きました。また、主力品目の価格改定が続き、販売促進策が限定的となったこと、天候不順により季節商品が不振であったこと、及び前述の夜間営業時間の短縮や臨時休業日を設定したことの影響を受けました。さらに、10月の消費税率引上げ後の消費者マインドの変化や台風19号の上陸に伴い全店舗で臨時に休業したことも影響いたしました。

以上の結果、当第3四半期は、営業収益768億33百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益8億6百万円(前年同期比28.6%減)、経常利益8億77百万円(前年同期比26.1%減)、四半期純利益5億8百万円(前年同期比28.2%減)となりました。

なお、当社は、食料品を中心に生活関連用品等の販売を主体とする事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前事業年度に比べ、7億24百万円増加し、123億64百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度に比べ、3億16百万円増加し、175億44百万円となりました。これは主に、店舗等の設備投資によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度に比べ、10億41百万円増加し、299億9百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前事業年度に比べ、8億31百万円増加し、82億72百万円となりました。これは主に、未払金の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度に比べ、22百万円増加し、19億62百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度に比べ、8億53百万円増加し、102億34百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前事業年度に比べ、1億87百万円増加し、196億74百万円となりました。

また、自己資本比率は、前事業年度に比べ、1.7ポイント減少いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の通期業績予想につきましては、前回(2019年9月27日)公表の業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,518	10,149
売掛金	0	0
商品	1,593	1,747
貯蔵品	24	24
その他	501	441
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,639	12,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,938	7,043
土地	4,077	4,077
その他(純額)	1,278	1,470
有形固定資産合計	12,295	12,591
無形固定資産	285	299
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,075	3,027
その他	1,620	1,672
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	4,647	4,653
固定資産合計	17,228	17,544
資産合計	28,867	29,909
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,569	5,479
未払法人税等	385	116
賞与引当金	182	364
ポイント引当金	267	268
その他	1,037	2,044
流動負債合計	7,441	8,272
固定負債		
退職給付引当金	644	671
環境対策引当金	94	94
長期預り保証金	801	792
資産除去債務	390	396
その他	9	8
固定負債合計	1,939	1,962
負債合計	9,381	10,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372	1,372
資本剰余金	1,723	1,732
利益剰余金	17,230	17,394
自己株式	△890	△872
株主資本合計	19,435	19,626
新株予約権	51	48
純資産合計	19,486	19,674
負債純資産合計	28,867	29,909

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	75,210	73,092
売上原価	64,097	61,866
売上総利益	11,112	11,226
その他の営業収入	3,838	3,740
営業総利益	14,951	14,967
販売費及び一般管理費	13,821	14,160
営業利益	1,129	806
営業外収益		
受取利息	20	20
その他	39	52
営業外収益合計	59	72
営業外費用		
支払利息	0	0
収納差金	1	1
営業外費用合計	2	1
経常利益	1,187	877
特別利益		
固定資産売却益	—	0
新株予約権戻入益	0	0
補助金収入	3	4
特別利益合計	4	5
特別損失		
固定資産除却損	102	66
特別損失合計	102	66
税引前四半期純利益	1,088	816
法人税、住民税及び事業税	466	392
法人税等調整額	△85	△84
法人税等合計	381	308
四半期純利益	707	508

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。